



平成16年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社 セ ッ ク
代表者名 代表取締役社長 矢 野 恭 一
(コード番号: 3741)
問合せ先 取締役経理部長 秋 山 逸 志
(TEL. 03 - 5458 - 7727)

平成17年3月期中間及び通期の業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年8月6日の「第1四半期財務・業績の概況(非連結)」に公表いたしました平成17年3月期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)の中間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 当期の中間期業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,225	16	5
今 回 修 正 予 想 (B)	1,180	9	3
増 減 額 (B - A)	45	7	2
増 減 率 (%)	3.7	43.8	40.0
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期中間)	1,359	206	111

2. 当期の通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,000	520	284
今 回 修 正 予 想 (B)	2,450	110	55
増 減 額 (B - A)	550	410	229
増 減 率 (%)	18.3	78.8	80.6
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期通期)	2,813	500	273

3. 修正の理由

(1) 平成17年3月期中間期

今中間期は、6月下旬に工期の延期が決まりました大型の工程遅れプロジェクトによる不採算及び受注機会損失を埋めきることができず、平成16年8月6日発表の中間業績予想を下回る業績となる見込みです。予想未達の原因は、工程遅れプロジェクトは7月末に終結し受注活動を再開いたしました。が、予定していた案件の受注が当社の期待どおりに進捗せず後戻りになるなどで、プロジェクトの切り替えに伴う稼働率低下を補うことができなかつたことによります。

なお、今中間期に計画しておりました JASDAQ 上場及び本社スペース拡張に伴う費用は全て予算範囲内で支払いを完了しております。

(2) 平成17年3月期通期

上記の受注機会損失の発生により中間期末の受注残高水準が低下しており、これによる稼働率低下の影響が下期まで残ること、BML ブラウザの試作商談・先行商談、SVG や LBS の先行商談が、現時点では小型案件が多いなどで今期の収益面への貢献があまり期待できず、優位維持に向けた優先受注が業績引き下げ要因となりかねないこと、今後の主体的なビジネスに向けてその素材ともなる BML、SVG 及び LBS の研究開発・製品化の前倒しに経営資源を配分することによる業績への影響、などを勘案し、通期の業績予想を修正することといたしました。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料発表時現在において当社が入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は、今後様々な要因により当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

以 上